

「みせ・商い」塾 プロコース・セミナー

主催：公益社団法人 商業施設技術団体連合会／一般社団法人 日本商業施設士会

「安全・安心・快適の基本を見つめ直す」

商業施設における誘導標識の新たな方向性について

パネラー：太田幸夫氏（太田幸夫デザインアソシエーツ代表）

国際規格の非常口サインで知られる太田幸夫氏に語っていただきます。

1972年の大阪千日デパート火災、翌年の熊本大洋デパート火災は多くの犠牲者を出しました。

太田幸夫氏の非常口サインの研究はここから始まりました。

そして現在、日本各地は災害に襲われ続けており、避難場所への確実な誘導は喫緊の課題となっています。

今回はその解決に向けての提案「避難誘導サイントータルシステム（RGSS）」について発表していただきます。

奇しくも商業施設士の制度誕生のルーツとも重なり合うテーマでもあり、多くの皆様のご来場をお待ちしております。

〈なお、同テーマにて商業施設技術団体連合会発行の機関誌「商業施設」2019年2月号にも執筆して頂いております〉

日時／2019年2月27日（水）

セミナー：17:00～18:30

懇親会／18:30～19:30

参加費／¥2,000（ドリンク付き）

会場／建築会館1階ギャラリー

〒108-8414 東京都港区芝5丁目26番20号

●申込み方法 ー 2月13日（水）15:00まで

定員50名

申込先着順で定員になり次第締め切らせていただきます。

セミナーにご参加をご希望の方は、

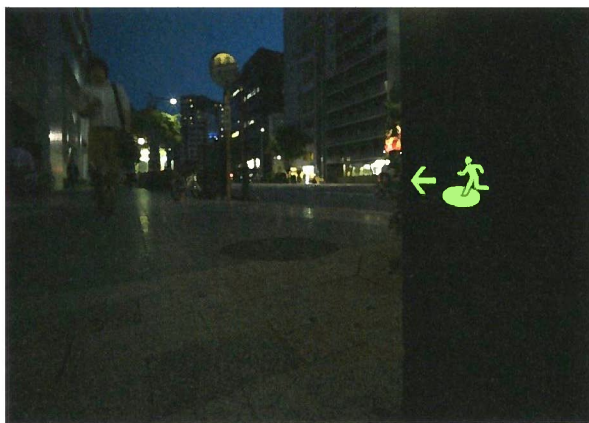
申込み専用メールアドレスへ、2月13日（水）15:00までに、
お申込みのほどお願いいたします。

メールメッセージの件名を「プロコースセミナー」とし、
参加を希望される方の「氏名」「所属」を記入してください。

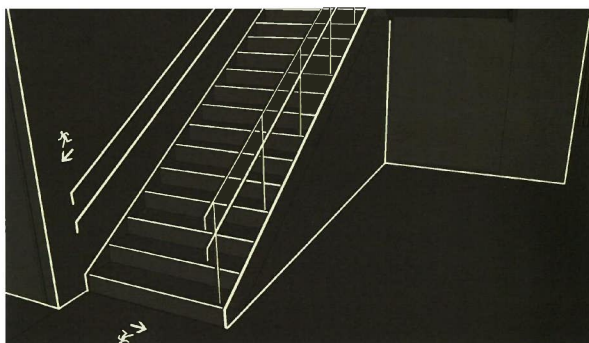
→ 申込み専用メールアドレス：sp@jtocs.or.jp



蓄光式フレームレス避難誘導サイン（昼間）



同上（夜間）



細い蓄光ライン（停電時事例）



非常口ピクトグラム修正案を検討する太田幸夫氏